

令和7年1月28日

各 位

会社名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード：16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL：03-6843-1413)

上場ETF(管理会社：シンプレクス・アセット・マネジメント)に関する日々の開示事項

シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社を管理会社として上場するETF銘柄について、以下のとおり令和7年1月27日の状況をご報告します。

上場ETF銘柄(20銘柄)

掲載番号	銘柄名	銘柄コード	上場取引所
1	WTI原油価格連動型上場投信	1671	東証
2	Simple-X NYダウ・ジョーンズ・インデックス上場投信	1679	東証
3	東証スタンダードTOP20 ETF	1551	東証
4	東証グロース・コア ETF	1563	東証
5	TOPIXブル2倍上場投信	1568	東証
6	TOPIXベア上場投信	1569	東証
7	中国H株ブル2倍上場投信	1572	東証
8	中国H株ベア上場投信	1573	東証
9	日経平均ブル2倍上場投信	1579	東証
10	日経平均ベア上場投信	1580	東証
11	TOPIXベア2倍上場投信	1356	東証
12	日経平均ベア2倍上場投信	1360	東証
13	JPX日経400ベア2倍上場投信(ダブルインバース)	1469	東証
14	東証グロース250ETF	2516	東証
15	東証REIT ETF	2555	東証
16	PBR1倍割れ解消推進ETF	2080	東証
17	政策保有解消推進ETF	2081	東証
18	投資家経営者一心同体ETF	2082	東証
19	東証REITインバース ETF	2094	東証
20	VIX短期先物指数ETF	318A	東証

*各銘柄の状況につきましては、次ページ以降をご参照ください。なお、各銘柄名をクリックしていただくと、各銘柄の状況が表示されます。

以 上

会社名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1671)
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL:03-6843-1413)

『WT I 原油価格連動型上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和7年1月27日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

5,442,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

18,474,739,597 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

3,394.84 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.11 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{円換算した特定の指標の終値}}{\text{円換算した前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. 指標の特徴や留意点等

○原資産等の価格を利用する指標との差異
対象指標は、現物の原油価格ではなく、原油先物取引の価格を参照しています。原油先物取引の価格には、保管コスト（コスト・オブ・キャリー）等が反映されることにより、現物の原油価格を参照する場合と比べて投資成果が下回るおそれがあります。

○ロールオーバーに伴う損益について
対象指標を構成する原油先物取引において、通常、限月間に保管コスト等を反映した価格差があります。期近の先物価格よりも期先の先物価格が高くなっていく順翰の状態（以下「コンタンゴ」といいます。）において、保管コスト等を反映した先物価格の時間的価値が減価する場合には、次限月以降の限月への乗換え（以下「ロールオーバー」といいます。）に伴って損失が発生する場合があります。一方、期近の先物価格よりも期先の先物価格が低くなっていく逆翰の状態（「バックワーデーション」といいます。）においては、ロールオーバーに伴って収益が発生する場合があります。

○留意すべき投資スタイル（中長期的な投資）
コンタンゴの状態が多くなる場合等、ロールオーバーに伴う損失が累積すること等によって対象指標が減価するおそれがあるため、中長期的な投資を行う場合には留意が必要です。

○原油先物取引が限月の最終取引日近くなり、銘柄入れ替えを行う際に負担する売買コストが、基準価額の変動率とのかい離を生じさせる要因になる可能性があります。

○信託報酬等のコスト負担が、基準価額の変動率とのかい離を生じさせる要因になります。

WTI原油価格連動型上場投信

開示基準日におけるWTI原油先物取引の買建玉

25年04月限

1,501 単位

25年05月限

82 単位

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1679)
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL:03-6843-1413)

『Simple-X NYダウ・ジョーンズ・インデックス上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和7年1月27日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

25,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

1,420,222,683 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

56,808.91 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.00 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{円換算した特定の指標の終値}}{\text{円換算した前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

以 上

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1551)
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL:03-6843-1413)

『東証スタンダードTOP20 ETF』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和7年1月27日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

116,229 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

622,565,078 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

5,356.37 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.01 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 設定および交換にかかる株式のポートフォリオ (別紙参照)

東証スタンダードTOP20 ETF

	株価指数終 値	日次 騰落率	一口あたりの 純資産額	日次 騰落率	乖離率	受益権総口数	純資産総額
2024/11/08	1,144.70	0.20%	5,042	0.20%	-0.01%	116,229	586,024,591
2024/11/11	1,159.19	1.27%	5,105	1.25%	-0.02%	116,229	593,335,156
2024/11/12	1,166.19	0.60%	5,135	0.60%	-0.01%	116,229	596,883,913
2024/11/13	1,145.19	-1.80%	5,044	-1.79%	0.01%	116,229	586,200,976
2024/11/14	1,140.90	-0.37%	5,025	-0.37%	0.00%	116,229	584,007,972
2024/11/15	1,137.25	-0.32%	5,009	-0.30%	0.02%	116,229	582,246,674
2024/11/18	1,128.40	-0.78%	4,970	-0.78%	0.00%	116,229	577,687,681
2024/11/19	1,131.61	0.28%	4,984	0.28%	0.00%	116,229	579,306,379
2024/11/20	1,126.91	-0.42%	4,963	-0.42%	-0.01%	116,229	576,853,491
2024/11/21	1,123.27	-0.32%	4,947	-0.32%	0.00%	116,229	574,982,147
2024/11/22	1,129.10	0.52%	4,972	0.51%	-0.01%	116,229	577,902,320
2024/11/25	1,127.59	-0.13%	4,965	-0.15%	-0.02%	116,229	577,020,521
2024/11/26	1,123.93	-0.32%	4,948	-0.33%	0.00%	116,229	575,121,241
2024/11/27	1,121.70	-0.20%	4,938	-0.20%	-0.01%	116,229	573,943,309
2024/11/28	1,147.05	2.26%	5,049	2.24%	-0.02%	116,229	586,820,582
2024/11/29	1,150.04	0.26%	5,062	0.25%	-0.01%	116,229	588,312,732
2024/12/02	1,149.59	-0.04%	5,059	-0.06%	-0.02%	116,229	587,970,921
2024/12/03	1,158.55	0.78%	5,098	0.77%	-0.01%	116,229	592,512,898
2024/12/04	1,151.60	-0.60%	5,067	-0.60%	0.00%	116,229	588,943,157
2024/12/05	1,148.50	-0.27%	5,053	-0.27%	-0.01%	116,229	587,326,136
2024/12/06	1,164.84	1.42%	5,124	1.41%	-0.01%	116,229	595,612,195
2024/12/09	1,186.52	1.86%	5,219	1.84%	-0.03%	116,229	606,545,076
2024/12/10	1,195.40	0.75%	5,257	0.74%	-0.01%	116,229	611,031,694
2024/12/11	1,202.82	0.62%	5,289	0.61%	-0.01%	116,229	614,769,984
2024/12/12	1,206.36	0.29%	5,305	0.29%	-0.01%	116,229	616,546,087
2024/12/13	1,198.87	-0.62%	5,272	-0.62%	0.00%	116,229	612,701,176
2024/12/16	1,193.54	-0.44%	5,247	-0.46%	-0.01%	116,229	609,889,408
2024/12/17	1,200.46	0.58%	5,277	0.57%	-0.01%	116,229	613,380,729
2024/12/18	1,200.50	0.00%	5,277	0.00%	-0.01%	116,229	613,352,996
2024/12/19	1,204.50	0.33%	5,294	0.33%	-0.01%	116,229	615,349,627
2024/12/20	1,196.75	-0.64%	5,260	-0.64%	0.00%	116,229	611,393,032
2024/12/23	1,207.70	0.91%	5,308	0.91%	-0.01%	116,229	616,926,767
2024/12/24	1,213.87	0.51%	5,335	0.51%	-0.01%	116,229	620,048,555
2024/12/25	1,212.82	-0.09%	5,330	-0.09%	0.00%	116,229	619,497,709
2024/12/26	1,218.01	0.43%	5,352	0.42%	-0.01%	116,229	622,112,028
2024/12/27	1,225.09	0.58%	5,388	0.66%	0.08%	116,229	626,229,600
2024/12/30	1,218.69	-0.52%	5,360	-0.53%	0.00%	116,229	622,936,759
2025/01/06	1,213.91	-0.39%	5,338	-0.40%	-0.01%	116,229	620,422,966
2025/01/07	1,214.27	0.03%	5,339	0.03%	0.00%	116,229	620,590,410
2025/01/08	1,204.17	-0.83%	5,295	-0.83%	0.00%	116,229	615,437,035
2025/01/09	1,202.30	-0.16%	5,287	-0.16%	0.00%	116,229	614,461,660
2025/01/10	1,195.60	-0.56%	5,257	-0.56%	0.00%	116,229	611,047,595
2025/01/14	1,197.69	0.17%	5,266	0.17%	-0.01%	116,229	612,081,120
2025/01/15	1,202.66	0.41%	5,288	0.41%	0.00%	116,229	614,595,309
2025/01/16	1,206.03	0.28%	5,303	0.28%	0.00%	116,229	616,305,747
2025/01/17	1,207.53	0.12%	5,309	0.12%	0.00%	116,229	617,046,416
2025/01/20	1,209.06	0.13%	5,315	0.12%	0.00%	116,229	617,798,494
2025/01/21	1,211.98	0.24%	5,328	0.24%	0.00%	116,229	619,270,352
2025/01/22	1,213.10	0.09%	5,333	0.09%	-0.01%	116,229	619,807,723
2025/01/23	1,213.20	0.01%	5,333	0.01%	0.00%	116,229	619,851,396
2025/01/24	1,217.09	0.32%	5,350	0.32%	0.00%	116,229	621,819,203
2025/01/27	1,218.62	0.13%	5,356	0.12%	-0.01%	116,229	622,565,078

東証スタンダードTOP20 ETF(交換に係わる交換口数)

令和7年1月29日は交換不可日のため、受け付けておりません

東証スタンダードTOP20 ETF(設定ポートフォリオ)

令和7年1月29日は設定不可日のため、受け付けておりません

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1563)
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL:03-6843-1413)

『東証グロース・コア ETF』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和7年1月27日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

1,388,734 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

3,365,569,278 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

2,423.48 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.01 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 設定および交換にかかる株式のポートフォリオ (別紙参照)

以 上

東証グロース・コア ETF

日付	株価指数終値	日次騰落率	一口あたりの純資産額	日次騰落率	乖離率	受益権総口数	純資産総額
2024/11/08	875.19	1.14%	2,359	1.13%	0.00%	2,006,372	4,733,198,984
2024/11/11	879.60	0.50%	2,371	0.50%	0.00%	2,006,372	4,757,007,862
2024/11/12	874.20	-0.61%	2,356	-0.61%	0.00%	2,006,372	4,727,811,720
2024/11/13	864.02	-1.16%	2,329	-1.16%	0.01%	2,006,372	4,673,071,983
2024/11/14	859.49	-0.52%	2,316	-0.55%	-0.02%	2,006,372	4,647,600,501
2024/11/15	864.34	0.56%	2,329	0.56%	0.00%	2,006,372	4,673,782,861
2024/11/18	841.99	-2.59%	2,269	-2.58%	0.00%	2,006,372	4,553,035,297
2024/11/19	857.88	1.89%	2,312	1.89%	0.00%	2,006,372	4,638,884,759
2024/11/20	851.26	-0.77%	2,294	-0.77%	0.00%	2,006,372	4,603,140,200
2024/11/21	855.34	0.48%	2,305	0.48%	0.00%	1,819,354	4,194,118,481
2024/11/22	851.77	-0.42%	2,296	-0.42%	0.00%	1,819,354	4,176,580,769
2024/11/25	850.87	-0.11%	2,293	-0.11%	0.00%	1,819,354	4,172,181,784
2024/11/26	841.91	-1.05%	2,269	-1.05%	0.00%	1,819,354	4,128,229,190
2024/11/27	847.99	0.72%	2,285	0.72%	0.00%	1,819,354	4,158,008,806
2024/11/28	854.91	0.82%	2,304	0.81%	0.00%	1,819,354	4,191,863,106
2024/11/29	881.14	3.07%	2,375	3.07%	0.00%	1,819,354	4,320,454,798
2024/12/02	884.49	0.38%	2,384	0.38%	0.00%	1,819,354	4,336,893,006
2024/12/03	910.46	2.94%	2,454	2.94%	0.00%	1,819,354	4,464,250,736
2024/12/04	899.61	-1.19%	2,425	-1.19%	0.00%	1,663,619	4,033,563,260
2024/12/05	898.88	-0.08%	2,423	-0.08%	0.00%	1,663,619	4,030,303,237
2024/12/06	897.01	-0.21%	2,418	-0.21%	0.00%	1,663,619	4,021,969,824
2024/12/09	908.75	1.31%	2,449	1.30%	0.00%	1,663,619	4,074,421,170
2024/12/10	905.06	-0.41%	2,439	-0.41%	0.00%	1,663,619	4,057,913,905
2024/12/11	898.43	-0.73%	2,421	-0.73%	0.00%	1,663,619	4,028,201,357
2024/12/12	911.33	1.44%	2,456	1.43%	0.00%	1,601,321	3,932,965,837
2024/12/13	920.36	0.99%	2,480	0.98%	-0.01%	1,601,321	3,971,616,972
2024/12/16	907.83	-1.36%	2,446	-1.36%	0.00%	1,601,321	3,917,567,045
2024/12/17	896.59	-1.24%	2,416	-1.24%	0.00%	1,601,321	3,869,059,248
2024/12/18	906.20	1.07%	2,442	1.07%	0.00%	1,601,321	3,910,441,438
2024/12/19	905.02	-0.13%	2,439	-0.13%	0.00%	1,570,162	3,829,308,145
2024/12/20	895.23	-1.08%	2,412	-1.08%	0.00%	1,570,162	3,787,833,526
2024/12/23	910.82	1.74%	2,454	1.73%	-0.01%	1,570,162	3,853,383,614
2024/12/24	919.81	0.99%	2,478	0.98%	-0.01%	1,570,162	3,891,222,704
2024/12/25	920.35	0.06%	2,480	0.06%	0.00%	1,570,162	3,893,489,898
2024/12/26	914.53	-0.63%	2,464	-0.63%	0.00%	1,570,162	3,869,007,108
2024/12/27	932.02	1.91%	2,514	2.01%	0.10%	1,570,162	3,946,911,013
2024/12/30	913.19	-2.02%	2,463	-2.01%	0.01%	1,570,162	3,867,688,343
2025/01/06	884.62	-3.13%	2,387	-3.11%	0.02%	1,570,162	3,747,481,582
2025/01/07	897.15	1.42%	2,420	1.41%	-0.01%	1,570,162	3,800,198,570
2025/01/08	903.86	0.75%	2,438	0.74%	-0.01%	1,570,162	3,828,433,684
2025/01/09	899.39	-0.49%	2,426	-0.49%	0.00%	1,570,162	3,809,610,394
2025/01/10	900.81	0.16%	2,430	0.15%	0.00%	1,570,162	3,815,510,970
2025/01/14	893.19	-0.85%	2,410	-0.84%	0.00%	1,570,162	3,783,368,680
2025/01/15	884.25	-1.00%	2,386	-0.99%	0.01%	1,570,162	3,745,733,373
2025/01/16	884.91	0.07%	2,387	0.07%	0.00%	1,570,162	3,748,483,334
2025/01/17	874.90	-1.13%	2,360	-1.12%	0.01%	1,570,162	3,706,319,711
2025/01/20	881.39	0.74%	2,378	0.73%	-0.01%	1,570,162	3,733,512,802
2025/01/21	883.43	0.23%	2,383	0.23%	0.00%	1,570,162	3,742,113,399
2025/01/22	881.40	-0.23%	2,378	-0.23%	0.00%	1,570,162	3,733,513,295
2025/01/23	878.59	-0.32%	2,370	-0.32%	0.00%	1,570,162	3,721,660,759
2025/01/24	904.32	2.93%	2,439	2.90%	-0.02%	1,388,734	3,387,254,104
2025/01/27	898.47	-0.65%	2,423	-0.64%	0.01%	1,388,734	3,365,569,278

東証グロース・コア ETF(交換に係わる交換口数)

令和7年1月29日は交換不可日のため、受け付けておりません

東証グロース・コア ETF(設定ポートフォリオ)

令和7年1月29日は設定不可日のため、受け付けておりません

会社名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1568)
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL:03-6843-1413)

『TOPIXブル2倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和7年1月27日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

27,560,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

12,968,136,037 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

470.54 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.42 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

TOPIXレバレッジ(2倍)指数(対象指標)は、下記の計算式を用いて原指標であるTOPIX(配当なし)の前日比変動率(%)*に対して2倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

* 前日比変動率(%)は、小数第3位四捨五入

当日の指数値=前日の指数値×(1+2倍×TOPIX(配当なし)の前日比変動率)

※TOPIXレバレッジ(2倍)指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるレバレッジ型指標の主な特徴および主な留意点

・TOPIXレバレッジ(2倍)指数は、変動率がTOPIX(配当なし)(以下、「TOPIX」といいます。)の日々の変動率の2倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はTOPIXの2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、TOPIXの変動率の2倍以上又は未滿となる場合があります。

・TOPIXレバレッジ(2倍)指数は、TOPIXが上昇局面においては、より大きなリターンを狙うことが可能ですが、下落局面においては、TOPIXより大きく下落する傾向があります。また、TOPIXが上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりTOPIXレバレッジ(2倍)指数は逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とレバレッジ型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

TOPIXブル2倍上場投信

開示基準日におけるTOPIX先物取引の買建玉 25年03月限	886 単位
-----------------------------------	--------

開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	1,700,000 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1569)
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL:03-6843-1413)

『TOPIXベア上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和7年1月27日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

3,446,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

4,225,437,737 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

1,226.19 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.20 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

TOPIXインバース(-1倍)指数(対象指標)は、下記の計算式を用いて原指標であるTOPIX(配当なし)の前日比変動率(%)*に対して-1倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

* 前日比変動率(%)は、小数第3位四捨五入

当日の指数値=前日の指数値×(1-1倍×TOPIX(配当なし)の前日比変動率)

※TOPIXインバース(-1倍)指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・TOPIXインバース(-1倍)指数は、変動率がTOPIX(配当なし)(以下、「TOPIX」といいます。)の日々の変動率の-1倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はTOPIXの-1倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、TOPIXの変動率の-1倍以上又は未満となる場合があります。

・TOPIXインバース(-1倍)指数は、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、TOPIXの動きと逆に下落していく傾向があります。また、TOPIXが上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりTOPIXインバース(-1倍)指数は逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

TOPIXベア上場投信

開示基準日におけるTOPIX先物取引の売建玉 25年03月限	153 単位
開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1572)
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL:03-6843-1413)

『中国H株ブル2倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和7年1月27日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

700,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

3,929,849,608 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

5,614.07 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.32 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産総額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{円換算した特定の指標の終値}}{\text{円換算した前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

ハンセン中国企業株レバレッジ指数は、ハンセン中国企業株指数の前日比変動率を2倍した指数です。ハンセン中国企業株指数の2倍のレバレッジの効いたリターンに加え、株式投資に対する借入金利及びリバランスに伴う印紙税も指数に反映されます。

※ハンセン中国企業株レバレッジ指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるレバレッジ型指標の主な特徴および主な留意点

注：ハンセン中国企業株レバレッジ指数は、ハンセン中国企業株指数（以下、「原指数」といいます。）の2倍のレバレッジの効いたリターンに加え、株式投資に対する借入金利及びリバランスに伴う印紙税も指数に反映されるため、正確に2倍として計算されるわけではありません。ただし、以下では説明の簡略化のために、「2倍」としていることにご注意ください。

・ハンセン中国企業株レバレッジ指数は、変動率が原指数の日々の変動率の2倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は原指数の2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、原指数の変動率の2倍以上又は未満となる場合があります。

・ハンセン中国企業株レバレッジ指数は、原指数が上昇トレンドにある場合において、収益をさらに強く求める指標であるため、原指数の上昇を見込む場合には有用です。また、下落局面においては、原指数より大きく下落する傾向があります。

・レバレッジ型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指数の変動率とレバレッジ型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

・原指数の上昇と下落が相互に繰り返されるような相場においては、複利効果により、原指標と比較して指数のパフォーマンスが逡減して行くという特性があり、投資者は利益を得にくくなりますので、留意が必要です。

・円換算した原指標の動きと、円換算したレバレッジ型指標の動きには、為替変動の影響もあるので、留意が必要です。

中国H株ブル2倍上場投信

開示基準日におけるHang Seng China Enterprises Index Future取引の買建玉
(開示基準日における取引を含む。)

25年02月限

1,081 単位

	A	B
開示基準日までの追加申込	0 口	0 口
開示基準日までの換金(解約)請求	0 口	0 口

A: 開示基準日の前営業日

B: 開示基準日

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード：16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード：1573)
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL：03-6843-1413)

『中国H株ベア上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和7年1月27日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

92,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

934,073,458 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

10,152.97 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.15 %

$$\text{乖離率} = \left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産総額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{円換算した特定の指標の終値}}{\text{円換算した前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

ハンセン中国企業株ショート指数は、ハンセン中国企業株指数（配当込）の前日比変動率をインバース（-1倍）した指数です。ハンセン中国企業株ショート指数は、ハンセン中国企業株指数（配当込）の前日比変動率の-1倍のリターンを示します。ハンセン中国企業株指数（配当込）の-1倍のリターンに加え、貸出金利とリバランスに伴う印紙税及び信用売りをしている株が支払いうる配当金も反映します。

※ハンセン中国企業株ショート指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

注：ハンセン中国企業株ショート指数は、ハンセン中国企業株指数（配当込）（以下、「原指数」といいます。）の-1倍のリターンに加え、貸出金利とリバランスに伴う印紙税及び信用売りをしている株が支払いうる配当金も反映されるため、正確に-1倍として計算されるわけではありません。ただし、以下では説明の簡略化のために、「-1倍」としていることにご注意ください。

- ・ハンセン中国企業株ショート指数は、変動率が原指数の日々の変動率の-1倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は原指数の-1倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、原指数の変動率の-1倍以上又は未満となる場合があります。
- ・ハンセン中国企業株ショート指数は、原指数が下落トレンドにある場合において上昇する指標であるため、ハンセン中国企業株指数原指数の下落を見込む場合には有用です。また、上昇局面においては、原指数の動きと逆に下落していく傾向があります。
- ・インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指数の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。
- ・原指数の上昇と下落が相互に繰り返されるような相場においては、複利効果により、原指数と比較して指数のパフォーマンスが減減して行くという特性があり、投資者は利益を得にくくなりますので、留意が必要です。
- ・円換算した原指標の動きと、円換算したインバース型指標の動きには、為替変動の影響もあるので、留意が必要です。

中国H株ベア上場投信

開示基準日におけるHang Seng China Enterprises Index Futureの売建玉
(開示基準日における取引を含む。)

25年02月限

132 単位

	A	B
開示基準日までの追加申込	0 口	5,000 口
開示基準日までの換金(解約)請求	0 口	0 口

A: 開示基準日の前営業日

B: 開示基準日

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード：16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード：1579)
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL：03-6843-1413)

『日経平均ブル2倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日：令和7年1月27日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

89,960,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

26,559,081,083 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

295.23 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.46 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

日経平均レバレッジ・インデックス（対象指標）は、日経平均株価（以下、「日経平均」といいます。）の2倍の変動率で指数が動くよう設計されています。

※日経平均レバレッジ・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるレバレッジ型指標の主な特徴および主な留意点

・日経平均レバレッジ・インデックスは、変動率が日経平均の日々の変動率の2倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は日経平均の2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、日経平均の変動率の2倍以上又は未滿となる場合があります。

・日経平均レバレッジ・インデックスは、日経平均が上昇局面においては、より大きなリターンを狙うことが可能ですが、下落局面においては、日経平均より大きく下落する傾向があります。また、日経平均が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果により日経平均レバレッジ・インデックスは通減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とレバレッジ型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以 上

日経平均ブル2倍上場投信

開示基準日における日経225先物取引の買建玉 25年03月限	1,326 単位
開示基準日における追加申込	420,000 口
開示基準日における換金(解約)請求	1,800,000 口

会社名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1580)
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL:03-6843-1413)

『日経平均ベア上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和7年1月27日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

10,032,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

15,238,613,208 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

1,519.00 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.24 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

日経平均インバース・インデックス(対象指標)は、日経平均株価(以下、「日経平均」といいます。)の逆の変動率(-1倍の変動率)で指数が動くよう設計されています。

※日経平均インバース・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・日経平均インバース・インデックスは、変動率が日経平均の日々の変動率の逆(-1倍)となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は日経平均の-1倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、日経平均の変動率の-1倍以上又は未滿となる場合があります。

・日経平均インバース・インデックスは、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、日経平均の動きと逆に下落していく傾向があります。また、日経平均が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果により日経平均インバース・インデックスは逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以上

日経平均ベア上場投信

開示基準日における日経225先物取引の売建玉 25年03月限	455 単位
開示基準日における追加申込	1,820,000 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード：16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード：1356)
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL：03-6843-1413)

『TOPIXベア2倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和7年1月27日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

8,810,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

2,776,124,229 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

315.11 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.40 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

TOPIXダブルインバース(-2倍)指数(対象指標)は、下記の計算式を用いて原指標であるTOPIX(配当なし)の前日比変動率(%)*に対して-2倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

* 前日比変動率(%)は、小数第3位四捨五入

当日の指数値=前日の指数値×(1-2倍×TOPIX(配当なし)の前日比変動率)

※TOPIXダブルインバース(-2倍)指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・TOPIXダブルインバース(-2倍)指数は、変動率がTOPIX(配当なし)(以下、「TOPIX」といいます。)の日々の変動率の-2倍となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はTOPIXの-2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、TOPIXの変動率の-2倍以上又は未滿となる場合があります。

・TOPIXダブルインバース(-2倍)指数は、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、TOPIXの動きと逆に下落していく傾向があります。また、TOPIXが上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりTOPIXダブルインバース(-2倍)指数は逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

TOPIXペア2倍上場投信

開示基準日におけるTOPIX先物取引の売建玉
25年03月限 201 単位

開示基準日における追加申込 0 口
開示基準日における換金(解約)請求 0 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1360)
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL:03-6843-1413)

『日経平均ベア2倍上場投信』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和7年1月27日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

153,760,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

43,899,859,420 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

285.51 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.47 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

日経平均ダブルインバース・インデックス(対象指標)は、日経平均株価(以下、「日経平均」といいます。)とは2倍の逆(マイナス2倍)の変動率で指数が動くよう設計されています。

※日経平均ダブルインバース・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

- ・日経平均ダブルインバース・インデックスは、変動率が日経平均の日々の変動率の2倍の逆(-2倍)となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は日経平均の-2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、日経平均の変動率の-2倍以上又は未滿となる場合があります。
- ・日経平均ダブルインバース・インデックスは、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、日経平均の動きと逆に下落していく傾向があります。また、日経平均が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果により日経平均ダブルインバース・インデックスは遞減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

以 上

日経平均ベア2倍上場投信

開示基準日における日経225先物取引の売建玉 25年03月限	2,195 単位
開示基準日における追加申込	3,690,000 口
開示基準日における換金(解約)請求	5,220,000 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:1469)
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL:03-6843-1413)

『JPX日経400ベア2倍上場投信(ダブルインバース)』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和7年1月27日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

343,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

195,846,655 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

570.98 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.27 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 連動対象指標の特徴と留意点

JPX日経400ダブルインバース・インデックス(対象指数)は、下記の計算式を用いて原指標であるJPX日経インデックス400(配当なし)(以下、「JPX日経400」といいます。)の前日比変動率(%)*に対して-2倍を乗じた変動率となるように計算された指数です。

* 前日比変動率(%)は、小数第3位四捨五入

当日の指数値=前日の指数値×(1-2倍×JPX日経400の前日比変動率)

※JPX日経400ダブルインバース・インデックスについては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特徴および主な留意点

・JPX日経400ダブルインバース・インデックスは、変動率がJPX日経400の日々の変動率の2倍の逆(-2倍)となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率はJPX日経400の-2倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、JPX日経400の変動率の-2倍以上又は未滿となる場合があります。

・JPX日経400ダブルインバース・インデックスは、下落局面でもリターンを狙うことが可能ですが、上昇局面においては、JPX日経400の動きと逆に下落していく傾向があります。また、JPX日経400が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果によりJPX日経400ダブルインバース・インデックスは逓減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。また、インバース型指標は、中長期にわたって投資をする場合、原指標の変動率とインバース型指標の変動率の乖離が大きくなる可能性があり、留意が必要です。

JPX日経400ペア2倍上場投信(ダブルインバース)

開示基準日におけるJPX日経400先物取引の売建玉 25年03月限	157 単位
開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:2516)
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL:03-6843-1413)

『東証グロース250ETF』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和7年1月27日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

37,780,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

18,974,543,962 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

502.24 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.01 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

以 上

東証グロース250ETF

開示基準日における東証グロース250指数先物取引の買建玉
25年03月限 7,788 単位

開示基準日における追加申込 0 口
開示基準日における換金(解約)請求 200,000 口

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:2555)
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL:03-6843-1413)

『東証REIT ETF』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和7年1月27日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

35,639,752 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

61,721,030,152 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

1,731.80 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.00 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 設定および交換にかかる株式のポートフォリオ (別紙参照)

東証 REIT ETF(交換に係わる交換口数)

令和7年1月29日は交換不可日のため、受け付けておりません

東証 REIT ETF(設定ポートフォリオ)

令和7年1月29日は設定不可日のため、受け付けておりません

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:2080)
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL:03-6843-1413)

『 PBR1倍割れ解消推進ETF 』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和7年1月27日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

9,460,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

11,394,488,821 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

1,204.49 円

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:2081)
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL:03-6843-1413)

『政策保有解消推進ETF』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和7年1月27日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

1,040,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

1,307,592,952 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

1,257.30 円

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:2082)
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL:03-6843-1413)

『投資家経営者一心同体ETF』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和7年1月27日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

410,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

429,286,995 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

1,047.04 円

会 社 名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:2094)
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL:03-6843-1413)

『東証REITインバースETF』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和7年1月27日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

1,000,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

964,575,667 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

964.58 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

-0.06 %

5. 連動対象指標の特徴と留意点

東証REITインバース(-1倍)指数は、原指標である東証REIT指数(配当なし)(以下、「東証REIT指数」といいます。)の前日比変動率に対して一定の負の倍数、すなわち-1倍、を乗じた変動率となるように計算された指数です。

東証REITインバース(-1倍)指数については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.simplexasset.com/etf/etf.html>

対象指標となるインバース型指標の主な特性及び留意点

- ・東証REITインバース(-1倍)指数は、変動率が東証REIT指数の日々の変動率の逆(-1倍)となるように算出されているため、前営業日と比較するとその変動率は東証REIT指数の-1倍となりますが、2営業日以上離れた期間での比較においては、複利効果により、東証REIT指数の変動率の-1倍以上又は未満となる場合があります。
- ・特に、東証REIT指数が上昇・下落を相互に繰り返す場合、上記の複利効果により東証REITインバース(-1倍)指数は逡減していくという特性があり、このような場合、投資者は利益を得にくくなりますので留意が必要です。

以 上

東証REITインバースETF

開示基準日における東証REIT指数先物取引の売建玉 25年03月限	578 単位
開示基準日における追加申込	0 口
開示基準日における換金(解約)請求	0 口

会社名 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社
(管理会社コード:16714)
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
(銘柄コード:318A)
問合せ先 ビジネスサポート本部 山口 節一
(TEL:03-6843-1413)

『VIX短期先物指数ETF』に関する日々の開示事項

開示基準日:令和7年1月27日

1. 上場ETFの上場受益権口数
(開示基準日現在)

220,000 口

2. 上場ETFの純資産総額
(開示基準日現在)

189,702,590 円

3. 上場ETFの一口あたりの純資産額
(開示基準日現在)

862.28 円

4. 上場ETFの一口あたりの純資産額と対象指標の終値の乖離率
(開示基準日現在)

0.00 %

$$\text{乖離率} = \left[\frac{\text{上場ETFの一口あたりの純資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの純資産額}} - \frac{\text{円換算した特定の指標の終値}}{\text{円換算した前営業日の特定の指標の終値}} \right] \times 100 (\%)$$

5. 指標の特徴や留意点等

以下は【投資リスク】の抜粋であり、詳しくは交付目論見書をご覧ください。

① VIX先物取引の利用に伴うリスク

VIX先物取引の価格は、原資産であるVIX指数の値動き、先物市場の需給等を反映して変動します。先物を買って建っている場合において、先物価格が上昇すれば収益が発生し、下落すれば損失が発生します。ファンドで行なっているVIX先物取引について損失が発生した場合、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

VIX指数は、30日間にどれだけ変動すると市場が考えているかを瞬時に測定することを目的とした指数であり、VIX指数の変動はS&P500指数などの株価指数に比べて大きくなる場合があることが観測されています。そのため、米国株式市場の変動率に比べて大きな損失が生じる可能性があります。

② 価格変動リスク

当ファンドは、S&P 500 VIX短期先物指数超過リターンを対象指標とし、対象指標の構成要素はVIX先物取引であり、VIX先物取引の原資産はVIX指数です。VIX指数は、S&P500指数オプション取引のビッド/アスク相場の仲値を用いて算出されており、米国の株価指数であるS&P500指数の変動の影響を受けます。VIX先物取引の価格が変動すれば当ファンドの基準価額の変動要因となります。VIX指数、VIX先物取引の価格が下落した場合は基準価額が下落する要因となり、投資元本を割り込むことがあります。なお、一般的に、VIX指数、VIX先物取引および対象指標の値動きは株式市場の値動きとは異なり、また、その変動幅は大きい場合があり、当ファンドの基準価額が米国株式市場の変動に比べて大きくなり、基準価額が大きく下落する場合がありますので、十分ご注意ください。

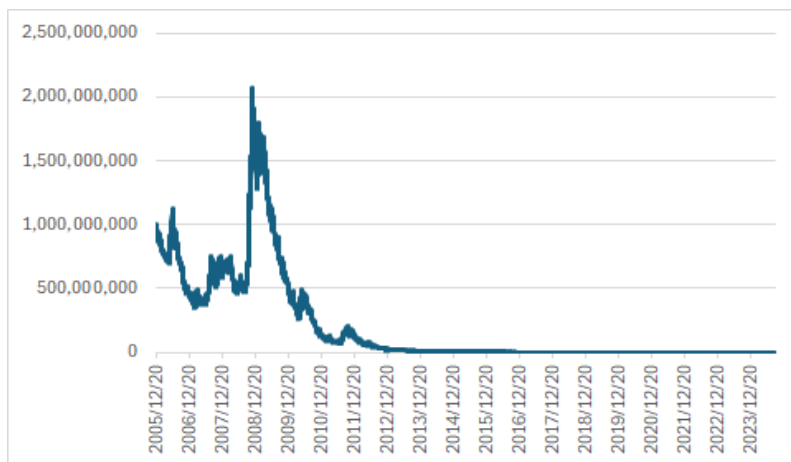
③ 対象指標について

a. 対象指標は、満期日が隣接する2つのVIX先物取引、CBOE先物取引所に上場、のロング・ポジションをロールする取引のリターンを測定します。各指数では、期間のより短い先物取引から期間のより長い先物取引に各月を通して毎日ロング・ポジションをロールします。

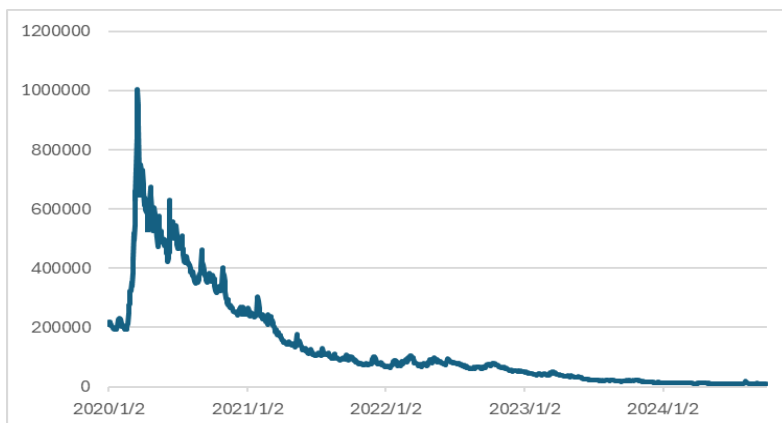
b. VIX先物取引の原資産であるVIX指数は、S&P500指数がVIX指数の各ティックが表示された時点から30日間にどれだけ変動すると市場が考えているかを瞬時に測定することを目的としています。しかし、VIX指数の値と将来の変動とは同じになるわけではなく、あくまで測定時点においてどれだけ変動すると市場が考えているかであり、将来の変動とは異なります。

c. 対象指標は長期にわたり右肩下がり傾向を示してきました。(S&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社(「SPDJ」)のデータをもとに当社作成。)

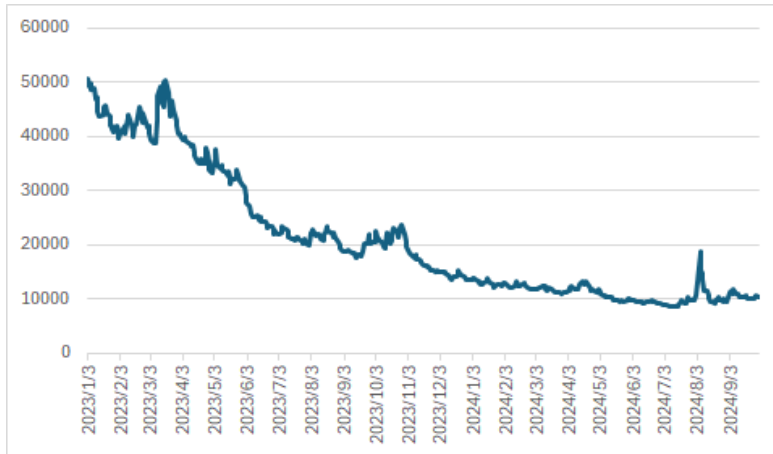
2005年12月20日から2024年9月30日までの対象指標の推移



2020年1月2日から2024年9月30日までの対象指標の推移



2023年1月3日から2024年9月30日までの対象指標の推移



対象指標が右肩下がりをしてきた説明は以下のとおりです。（S&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJ」）より。）

対象指標は基本的に、第1限月のVIX先物取引を第2限月の先物取引に日次でロールするポジションを複製し、VIX先物取引の1ヵ月ロング・エクスポージャーを一定にします。つまり、VIXカーブが上向きで、他のすべてが変わらない場合、このロールする過程は損失となります。

VIXカーブとは、VIX先物取引の価格が、第1限月の価格より第2限月の価格の方が高くなる傾向を見せることです。

免責事項：これは概念を説明するためのものであり、参照指標の正確な計算方法に従っているわけではありません。

まず、1ヵ月を30日と仮定します。

1日目：第1限月先物取引を100%ロング

2日目： $(29/30) \times$ 第1限月先物取引 $+$ $(1/30) \times$ 第2限月先物取引

第1限月先物取引の $(1/30)$ 部分売り、第2限月先物取引を買うこととなります。VIXカーブが上方傾斜しているため、初日に購入した価格よりも低い価格で売ることになり、実現損失が発生します。 $(29/30) \times$ 第1限月先物ポジションの時価評価額はマイナスとなります。

3日目： $(28/30) \times$ 第1限月先物取引 $+$ $(2/30) \times$ 第2限月先物取引

...

29日目： $(1/30) \times$ 第1限月先物取引 $+$ $(29/30) \times$ 第2限月先物取引

30日目：100% \times 第2限月先物取引（この時点で第2限月先物取引は期近である第1限月先物取引になる）

参照指標は、ロールする過程は損失となる傾向があり、長期的には大きな損失となります。しかし、VIX指数が急騰し、VIXカーブの傾向が反転することが多いときには、短期的に利益をあげます。したがって、参照指標は戦術的に使用するのが最善と思われ、主要な市場のボラティリティが高まるようなイベントや市場の変動に対応して、長期よりは比較的短期に保有されるような戦略です。

④ 対象指標とファンドの基準価額のかい離

当ファンドは、デリバティブ取引を利用することにより、基準価額の変動率を対象指標の変動率に一致させることを目標として運用されますが、以下のような要因により、必ずしも対象指標と完全に一致した運用成果とはならないことに留意が必要です。

a. VIX先物取引などのデリバティブ取引を利用しますが、当該取引の値動きと対象指標との値動きが一致しないことにより、対象指標の変動率とファンドの基準価額の変動率にかい離が生じることがあります。

b. 対象指標の特性により、VIX先物取引の実質買い建て総額が信託財産の純資産総額とほぼ同額となりますが、必ずしも正確に同額ではなく、純資産総額を上回ることも、または下回ることもあります。それにより、対象指標の変動率とファンドの基準価額の変動率にかい離が生じることがあります。

c. 資金の流入から実際にVIX先物取引を買い建てるためのタイミングのずれの発生により、対象指標の変動率と基準価額の変動率にかい離が生ずる可能性があります。

d. VIX先物取引には取引証拠金がかかります。その取引証拠金は一般的な株価指数先物取引の取引証拠金に比べて大きな金額です。VIX指数が大きく変動することによりVIX先物取引の取引証拠金がさらに大きくなり、取引証拠金の制約により、VIX先物取引の買い建てを手仕舞いしなければならない事態が発生する可能性があります。その場合、対象指標の変動率とファンドの基準価額の変動率にかい離が生じます。

e. 信託報酬等のコスト負担が基準価額の変動率とのかい離の要因となります。

以上

VIX短期先物指数ETF

開示基準日におけるVIX先物取引の買建玉

25年02月限

74 単位

25年03月限

14 単位